令和５年度 小森野小学校地域学校協議会プラン

１　学校の課題

提言①　学力の保障と向上の課題を解決するために、子どもたちの学習習慣・読書習慣の定着を図る。
提言②　保護者、地域、学校が協力し、元気なあいさつ・感謝する心・公共のルールを守る心を育てる取組を推進し、子どもたちの豊かな心の育成と規範意識の定着・強化を図る。

２　提言の実働化に向けた具体的な取組（3者協働の場合）

具体的な取組			
	学　校	家　庭	地　域
提言①	○ 家庭での学習習慣づくりとして「家庭学習充実週間」の設定や学年に応じた自学の取組を課題に出す。 ○ 読書週間づくりとして、貸出冊数の目標設定、課題図書の選定を行う。	○ 家庭学習を行う場を決めるなど環境整備とともに、意欲づけのための称賛の声かけに取り組む。 ○ 家庭においてスローメディアと家読推進週間を学校と連携して各学期に取り組む。	○ 放課後学習会の「花まる先生」を担当するボランティアを募集・派遣する。 ○ 学習に応じ、地域人材や資源の提供を行い、子どもたちに幅広い学習の場を設ける。
提言②	○ 地域・学校委員会の取り組む「あいさつ運動」に目標設定して参加させたり、児童によるあいさつ運動を計画したりする。 ○ 生活のめあてをもとに、学年に応じて、学級の取組を考え、自己評価できるようにする。	○ PTA 主催の教養講座や規範教育の講演等に参加したり、通信を作成したりする。 ○「あいさつ運動」への参加を通して、あいさつについて子どもと話す機会をもつ。	○ 学期１回の「あいさつ運動」を通して、子どもたちに地域の一員としての意識づけを行う。 ○ 学校の教育活動に参画していく中で子どもたちの豊かな心の育成にかかわる。

※学校、家庭の2者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

３　児童生徒の成長

〈年度初め〉
①学年×10 分の家庭における学習をしている子どもの割合 ： 78.7%
②自分からあいさつする子どもの割合：82.6%

→

〈年度末〉
①学年×10 分の家庭における学習をしている子どもの割合 ： 80%以上
②自分からあいさつする子どもの割合：85%